

大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム

多次元的な学士力養成を担う総合的学修支援

報告書

目次

はじめに	3
目次	5
○ 計画	
1-1 事業概要	11
1-2 事業背景	13
1-3 事業の詳細	16
1-4 事業実施計画	23
1-5 情報公開体制	25
1-6 事業経費	26
○○ 成果	
2-1 実績報告	30
2-1-1 平成 21 年度実績報告	30
(1) この年度事業の目的と必要性	30
(2) 平成 21 年度の事業実施計画	30
(3) 事業内容	31
(4) 学内合意形成過程	33
(5) 具体的な事業成果	34
2-1-2 平成 22 年度実績報告	35
(1) この年度事業の目的と必要性	35
(2) 平成 22 年度の事業実施計画	36
(3) 事業内容	36
(4) 学内合意形成過程	39
(5) 具体的な事業成果	42
2-1-3 平成 23 年度実績報告	44
(1) この年度事業の目的と必要性	44

(2) 平成 23 (最終) 年度の事業実施計画	44
(3) 事業内容	45
(4) 学内合意形成過程	47
(5) 具体的な事業成果	49
2-2 エビデンス・ベースでの事業成果のまとめ	53
(1) カラーコードベンチマークの導入	54
(2) 成績評価指標に GPA を導入	56
(3) 開講科目における各カラーコードベンチマークの数と割合	58
(4) 成績評価 レターグレード評価の割合から	60
(5) 成績評価 functional GPA の導入	62
(6) 成績評価 GPA の分布から捉え直す	64
(7) 成績評価 functional GPA の効能	66
(8) 履修単位数と単位制度の実質化	68
(9) 履修取消申告制度の実施	69
(10) 総合学修支援センターの設置	70
(11) 総合学修支援センターの機能	72
(12) 授業・学習支援システムの構築と運用	74
(13) 学修支援情報システムの開発と構築	76
(14) 学修支援情報システム alagin	83
●●● 成果関連調査研究・実践報告	97
3-1 学修支援 (システム) についての在学生アンケート調査	98
3-2 GPA 制度に関連する国際調査	166
3-3 ICT を活用した学修支援の意義 — Plone を使った実践と運用を例に	181
3-4 情報共有を目的とした LMS (Moodle) 利用の一例	199
3-5 fGPA 算法の比較検証: 従前の GPA から functional GPA への移行とその最適互換性をめぐって	202
3-6 2009 年度公開シンポジウム『教育の質保証—4 つの大学の取組から』記録	212
※ なお、2011 年度公開シンポジウム 2 の内容は本書別冊に載せた。	別冊

●●●● 継承と展開	295
4-1 カラーコードベンチマークの継承と展開	296
4-2 fGPA の継承と展開	298
4-3 総合学修支援の継承と展開	300
後記	302